

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	玉川大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	タマガワダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	「インターンシップA」および「インターンシップB」
	学部・研究科等名	観光学部
	担当教職員名・役職	根木良友・准教授
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	95
	受入企業等数	35
	受入企業等名	1000 Pound BendBayview EdenBayview on EdenBayview on ParkBayview on the ParkCafe BlacCafe MileDonovansFitzroy B&BFusion EnglishH.I.S. Australia Melbourne BranchJapan Package ToursJCCI, MelbourneJTB MelbourneKaplan International EnglishLangham MelbourneLentil as AnythingLevelup EnglishMain Ridge DairyMarriott HotelMelbourne Marriot Hotel Melbourne Star Observation WheelNovotel Melbourne Glen WeverleyOZ HouseQuest HawthornRipponlea National Trust of AustraliaRYDES MelbourneSunny Ridge Strawberry Farm Swanston Hotel Grand Mercure T'GallantUniversity of SwinburneXavier College
	インターンシップの分類	3.海外インターンシップ,9.その他
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	留学先大学の受け入れ体制の制約から、H29年度より概ね1ヶ月(2週間のインターンシップを計2回実施)の実施体制に移行済み。	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
要素②	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	平成29年度より1年間の海外留学中に2週間の企業インターンシップを2度実施。初回は語学力の点からコミュニケーションが少ない職場での就業体験、2回目は1年間の体験を生かし通常の就業体験を実施。配属先は学生の希望を基に決定。
	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している,4.当該インターンシップは、必修科目として実施している,8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次秋学期および3年次春学期
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	4単位
要素③	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	必修科目である「インターンシップA」および「インターンシップB」に対して、それぞれ2単位、計4単位を付与している。評価についてはS・A・B・C・Fの5段階評価としている。
	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	観光学部教員が代表を務める本学との合同出資会社社員がインターンシップ期間中に全ての研修先企業を訪問し、企業ヒアリングと学生面談を行っている。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	海外企業で必要とされる履歴書や志望動機等を適切に英文で表記できるよう、記述の仕方や内容に関する指導を行っている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	研修後に学生より研修日誌およびインターンシップ報告書の提出を義務付けている。毎日記載する研修日誌では、研修業務内容と責任範囲の概要、および取り組みに対する所感を記述させている。報告書においては、業務と責任範囲の詳細、新たな経験、修得したスキルや知識、活用したスキルや知識、反省点および所感を記載させている。
要素④	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	帰国後の就職活動指導の点で、学生が報告書に記載した内容を基にグローバル人材に求められるジェネリックスキル・異文化適応力・職場における語学の実践力、および業種や業務に対する関心事などをモニタリングしている。
	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている,4.その他
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	留学生全員対象の帰国者ガイダンスの中で、キャリアセンター職員によるインターンシップの成果を就職活動に結び付けるためのキャリア指導を実施している。併せて、外部講師を招いた自己理解セミナーも実施している。

	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	就職活動準備として先決である学生の自己理解を促している。内容は、①自身の志望先の明確化②履歴書やエントリーシートに自身の強みを書いて・話せるようにする指導である。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間20日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	平成28年度は1年間の海外留学中に留学先の2大学の在籍者に対して実働5日間×2回=10日間、1大学については5日間+10日間=15日間インターンシップを実施した。平成29年度より実働10日間の企業インターンシップを2度実施。初回は語学力の点からコミュニケーションが少ない職場での就業体験、2回目は1年間の体験を生かし通常の就業体験を実施。配属先は学生の希望を基に決定。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している。2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している。3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している。5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	各企業には大学が作成した学生のジェネリックスキルを測る評価シートFundamental Competencies for Working Personsに対して記述をいただいている。Initiative, Ability to influence, Execution skill, Ability to detect issues, Planning skillを含む12項目が評価項目としている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://unitama.tamagawa.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp
問い合わせ先	大学等名	玉川大学
	担当部署名	観光学部
	担当者役職名	准教授
	担当者氏名	根木良友
	電話番号	042-739-8302
	メールアドレス	negi@tsm.tamagawa.ac.jp